

令和5年度第2回 幸田町地域公共交通会議 議 事 録

1 開催日時 令和5年10月13日(金) 14:00～15:30

2 開催場所 幸田町保健センター 2階 視聴覚室

3 出席者

【委員】

区分	職名等	氏名	備考及び代理出席者等
学識経験者	名古屋大学 未来社会創造機構 モビリティ社会研究所工学科 教授	森川 高行	会長
	名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授	松本 幸正	副会長
交通事業者等	愛知県タクシー協会岡崎支部 支部長（岡陸タクシー(株)）	浅岡 林平	
	幸田タクシー株式会社 代表取締役	葉賀 玲子	
	株式会社レミックス 代表取締役	池田 広史	
	町内交通事業者 運転手代表（(株)レミックス）	三浦 節夫	
住民・利用者	幸田町区長会 会長	内藤 節夫	
	幸田町商工会 会長	神取 勇	
	幸田町老人クラブ連合会 会長	大嶽 弘	
	幸田町身体障害者福祉協会 会長	加藤 雅敏	
	幸田町手をつなぐ育成会 会長	小山 興建	
	幸田町聴覚障害者福祉協会 会長	高橋 恵子	
行政	国道交通省 中部運支局 愛知運支局 首席運輸企画専門官	宮川 高彰	
	愛知県都市・交通局交通対策課 担当課長	石谷 義道	代理出席 名倉 佑哉
	愛知県 西三河建設事務所 維持管理課長	久田 安信	欠席
	愛知県警察 岡崎警察署 交通課長	山口 幸治	代理出席 藤城 昌樹
	幸田町 副町長	大竹 広行	

敬称略

【事務局】

職名	氏名	備考
幸田町 企画部 部長	成瀬 千恵子	
幸田町 企画部 企画政策課 課長	柴田 淳一	
幸田町 企画部 企画政策課 主幹	石川 純子	
幸田町 企画部 企画政策課 主事	清水 総公	

【事務局補助】

職名	氏名	備考
株式会社 建設技術研究所	栗生 啓之	
株式会社 建設技術研究所	長谷川 正利	

4 会議次第

- 1 挨拶
- 2 協議事項
 - (1) 【第1号議案】幸田町地域公共交通計画（仮称）策定について
- 3 閉会

5 資料

- ・資料1 【第1号議案】計画策定に向けたスケジュール
- ・資料2 【第1号議案】都市交通施策に関するニーズ調査
- ・資料3 【第1号議案】計画の基本方針
- ・参考1 幸田町地域公共交通計画（仮称）策定に向けた鉄道利用者アンケート調査 調査結果
- ・参考2 幸田町地域公共交通計画（仮称）策定に向けた高齢者アンケート調査 調査結果
- ・参考3 幸田町地域公共交通計画（仮称）策定に向けた中高生アンケート調査 調査結果
- ・参考4 幸田町地域公共交通計画（仮称）策定に向けた企業アンケート調査 調査結果
- ・参考5 幸田町地域公共交通計画（仮称）策定に向けた障害者団体ヒアリング調査 調査結果
- ・参考6 バスルート位置図（幸田町全体）

6 議事内容

1 挨拶

（森川会長挨拶）

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。前回の会議で採択されたニーズ調査結果の速報値に関する報告や、結果をもとに計画の基本方針を事務局が作成しました。計画の根幹について議論していきたいと思っています。よろしくお願いします。

2 協議事項

- ・事務局より資料1、資料2、資料3に基づいて説明

【質疑等】

委員：企業アンケートはどのように行ったのか。

事務局：各事業所の総務課にアンケート用紙を送付し、回答をいただいた。

委員：持続的な公共交通を構築するうえで効率化を図る必要がある。高齢者でも1kmほど歩ける人も居るため、停留所設置に考慮する必要がある。

また、買い物をする人の行先となる町内施設は多くあるため、そこへ向かうルートや停留所設置が求められると考えられる。

中高生は自転車で移動することが考えられるため、高齢者や免許返納者を対象としたほう

がよい。

事務局：今回のニーズ調査結果より、目的地となる割合や公共交通の利用率を可視化することができた。このデータをルート再編に1周の時間等を考慮しながら活用していきたい。
対象者については、送迎する親の手間や時間の確保なども考慮していきたいと考えている。

委員：中高生は自転車で移動することが主になると考える。

朝夕の駅前送迎の車で溢れかえることもあり、特に朝は必要であると考えられ、名鉄バスの様に駅に乗り入れすることも必要ではないかと考える。しかしながら、タクシーとの競合を避ける必要もある。また、えこたんバスは福祉と交通どちらに捉えるのか。

事務局：朝夕の運行を行うのであれば、えこたんバスを名鉄バスの路線の様に通勤・通学を対象とすることが考えられえ。

えこたんバスは福祉バスから始まり、相見駅新設時にコミバス化した。現在では、チョイソコこうたが福祉的要素を含めている。

委員：活力創生は高齢者を対象にし、福祉的な面を持たせるのか、子供や中高生、働き手を対象にし、将来への接続を考慮するなど、誰を対象にし、どのような体系で行うのか。

また、企業バスの片道は空白であることが考えられるため、活用することはできないか。現在、無償での利用となっているが、有償化についてどのように考えているのか。

事務局：公共交通を利用することで外出促進を図っていきたい。そのため、イベントなどにより外出のきっかけづくりの必要があると考えられる。企業バスについては、可能性を検討していきたい。有償化については、事業の持続化を図るため、利用者負担を考慮している。

委員：幸田町では、自分で運転できるひとは運転するため、優先すべきターゲットは車へ乗れない人であると考え。利用者の少ないえこたんバスについては再編が求められ、ルートを円形ではなく、拠点間を往復する形がよいのではないかと考える。チョイソコこうたの中高生利用は中高生の利用ばかりになることが考えられるため対象外とすべきと考える。また、有償化も必要であると考え。朝の通勤時間帯は考慮していくべきと考える。

事務局：ルートの再編について、拠点間往復型などを考慮していきたい。また、対象者によってルートを検討していきたい。

委員：チョイソコこうたは現在、9時から14時については買い物や通院での利用で一杯となっており、予約が取れないとの声も聞く。また、携帯電話を持っていない人など、予約が難しい人も居る。もし地域を拡大するのであれば、車両の追加が必須となる。そして、中高生の利用は現実的ではないと考えられる。えこたんバスの小型化をしてはどうか。

事務局：委託業者のアイシンからは、予約が取れていないといったことは聞いていない。オペレーターが調整してくれているのではないかと考えられる。エリア拡大に車両追加は必須であると考えている。

委員：デマンド交通は様々な種類があるため、チョイソコにこだわる必要はないと考えられる。また、一部の利用者のリピート率が高いことから、公共交通と呼べるのか疑問が残る。

委員：えこたんバスは高齢者が乗るものと思い、子供が遠慮して乗らず、自転車で移動することを聞いたことがある。また、ICカードを導入してはどうか。

事務局：誰でも乗れるものであるため、ぜひ遠慮せず乗っていただきたい。ICカードについては、有償化の際に合わせて対応していきたい。

委員：交通網の再編は3駅を中心とし、働き手や高齢者、障害者を対象としていくことが考えられる。また、有償化も必要であると考えられる。

事務局：ニーズ調査の結果からも、高齢者、障害者を中心に考慮していきたい。

委員：需要が増えれば、車両不足になることが考えられる。チョイソコにこだわることはなく、坂崎コミュニティライドの様な形態を広げていくのはどうか。

委員：シェアライドについて、無償であれば特に問題なく可能であるが、有償であれば緑ナンバーの2種免許を取得する必要がある。タクシー助成が現実的であると考えられる。

委員：山間や高齢化率の高い地域ではどのようなになっているのか。

委員：総動員と称し、コミバスが100円、デマンド型交通を有償にて運行に加え、共助として住民NPOが体系は様々であるが活動していることが多い。住民NPOについては、コミュニティが形成されており文化が定着していればいいが、移住者が多いなどの条件次第では難しい状況となる。

委員：町外へ行くときはコミバス、高齢者は福祉タクシー、買い物へ行くときはコミュニティライドなど分けをしていくことが必要であると考え。

事務局：再編に合わせ、考慮していきたい。

委員：前提として、税金を使用しての事業であり、誰にどんなサービスを提供するのか優先度を考慮する必要がある。利用者の特になくなると困るという声を考慮していくことが必要であり、経済的問題や介助の必要な方に目を向ける必要がある。また、基本方針が大きくなっており、本当にできるのか疑問である。対象を絞り、助ける人と解決を任せる人を区別していく必要がある。また、タクシーの活用に関する記載がなく追記が求められる。今回のアンケートによって、利用率は可視化できたかもしれないが、困っている人が居ないかについて見えていない。

事務局：基本方針については見直しをし、今回議論された、高齢者や障害者の方と送迎を中心に検討していきたい。行先を明確化することにより、具体性を持たせていきたい。計画が広い範囲となっているため、対象を絞るなどにより何をするのかわかりやすくしていきたい。また、記載内容が町の施策に偏っており、タクシーの記載がされていなかった。タクシーについては、公共交通の手の届かない所を助けてもらうことが考えられるため、検討していく。

・第1号議案の承認

3 閉会

事務局：委員の皆様におかれましては、お忙しい中お集まりいただき、また慎重に議論していただきありがとうございました。最後に、事務局長より挨拶させていただきます。

事務局長：本日は大変お忙しい中、幸田町地域公共交通会議に御出席いただくとともに慎重にご審議いただきまして、誠にありがとうございました。今回議論していただいた内容をもとに、計画の基本方針について改めて検討していきたいと思います。今後とも、引き続き幸田町の公共交通につきまして、御意見をいただければと思っております。

事務局：以上をもちまして、令和5年度第2回幸田町地域公共交通会議を閉じさせていただきます。皆様、本日は大変お忙しい中、ありがとうございました。